

LNG燃料船向け オイル/ガス コンビネーションバーナ「Vignis-mini」発売



オイル/ガス混焼
バーナ本体



ガスバルブ
ユニット

ボルカノ株式会社はLNG（液化天然ガス）燃料船向け オイル/ガス コンビネーションバーナ「Vignis-mini」を開発し、2016年4月12日に発売しました。

「Vignis-mini」は、今後大きく期待されているLNG燃料船向けに、蒸発量1t/h～3t/h規模のボイラに対応した製品です。このバーナは、オイル専焼、ガス専焼だけでなく、ガスとオイルを同時に燃焼（混焼による連続燃焼可能）させることが可能です。

混焼可能とすることで、LNG燃料タンクで発生した気化ガス（ボイルオフガス）をボイラ燃料として有効活用が図れます。混焼時でも安定した燃焼を実現しており、燃料の切り替えも円滑にできることから、お客様の状況に応じた専焼/混焼を容易に選択できます。

また、LNG燃料船のドック（点検、修理）時には、LNG燃料タンク内の可燃性ガスを不活性ガス（イナートガス、N₂等）に置換する必要がありますが、その際にも不活性ガスが混じった状態のガスを燃焼でき、ガスを有効に活用します。

「Vignis-mini」は、LNG燃料船に搭載されるボイラ向けに出荷が開始されており、ボルカノ株式会社は、このバーナを装着したLNG燃料船が今後竣工されていくことにより、省エネルギー、環境負荷低減に貢献していきたいと考えています。

<製品名「Vignis-mini」について>

Vignisは、商標ボルカノの頭文字Vとラテン語ignis（炎）を組合せた造語（登録商標）です。

Vignisシリーズには、

Vignis-mini（ボイラ蒸発量1～3t/hに対応、今回2016年4月発売）、

Vignis（ボイラ蒸発量4～10t/hに対応、2014年4月発売）、の2つのタイプがあります

商品主要仕様

問合せ先： 燃焼機事業部 営業部（TEL06-6392-5541） 担当 佐々木、名定（なさだ）
ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北1-3-38



Press Information

特徴：

- ① HFO（重油）/MGO（マリンガスオイル）/LNGの全てに対応可能な、コンビネーションバーナ
 - － 各オイル専焼、ガス専焼、オイル/ガス混焼の5モードを搭載
 - － HFO（重油）燃料粘度700cStに対応
- ② 省エネ、環境負荷低減、の両面に貢献
 - － オイル/ガス混焼の実現により、LNG燃料タンク内のガスを安全に有効活用
- ③ 安全かつコンパクトなガスバルブユニット
 - － 省スペース、メンテナンス性、耐圧構造を実現
- ④ PLC計装を採用した安心制御
 - － 高信頼性を実現

シリーズ構成：

Burner Type		MJGX-90	MJGX-140	MJGX-180	MJGX-250
ボイラ蒸発量 Boiler Evaporation	t/h	1	1.5	2	3
油燃焼量 Combustion Rate (HFO)	kg/h	90	140	180	250
ガス燃焼量 Combustion Rate (LNG)	kg/h	74	115	148	206
燃焼形態 Combustion System		HFO mono, MGO mono, FG mono HFO/FG dual, MGO/FG dual			
油圧 Oil Pressure	MPa	Max. 2.0			
噴霧空気圧 Atomizing Air Pressure	MPa	0.5 Constant Pressure Control			
ガス圧(バーナ入口) Gas Pressure (BNR INLET)	kPa	Over 100 (1.0 @ Min. Load)			
制御方式 Control System		Proportional Control			
空気供給 Draft System		Forced Draft			
風圧差(油燃焼時) Register Draft Loss at MCR(HFO firing)	kPa	2.9			
燃焼空気温度 Combustion Air Temp.	°C	45			
空気比 Excess Air Ratio		1.2			
ターンダウン比 Turn Down Ratio		3:1 ~ 10:1			

以上

問合せ先： 燃焼機事業部 営業部 (TEL06-6392-5541) 担当 佐々木、名定(なさだ)
ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38